

第3回総合計画審議会からの意見と対応

No	基本目標	計画ページ	意見	対応	関係課
1	1	P22	農業の担い手の育成について、第3回審議会資料にある「農業をこれから始めようとする新規農耕者には、ふれあい農園で耕作を始めていただき、その後、農家資格取得に向け認定農業者等のもとで研修を受けるよう促進します。」といった内容を反映させたほうがよいのではないか。	計画に反映いたしました。	農林水産課
2	3	P54	駐車場の対策みたいなものが課題にあるのか。あれば総合計画にも入れてもいいのではないか。	駐車場対策については、R7年度に見直しを行っている。都市マスタープランの交通体系において、自動車利用の観光客増加や町内の渋滞対策のため、温泉場や海岸など観光拠点を想定し、公民連携による既存駐車場や遊休地活用により、駐車場の整備・確保に取り組む旨、記載させていただく予定です。	まちづくり課
3	3	P54	自転車を活用しようという国の動きもあるので、町で考えていることがあれば入れてもいいのではないか。	自転車の活用については、R7年度に見直しを行っている。都市マスタープランの環境にやさしいまちづくりの方針において、観光客向け二次交通としてのレンタサイクルとともに、電動キックボードの普及などを推進する旨、記載させていただく予定です。	まちづくり課
4	3	P54	立地適正化計画について、策定する方向であれば記載したほうがいいのではないか。	立地適正化計画については、R7年度に見直しを行っている。都市マスタープランの土地利用の方針において、持続可能な都市構造の再構築を目指す立地適正化計画の策定を検討する旨、記載させていただく予定です。	まちづくり課
5	3	P58	P58下部のマスタープランの標記について、わかりやすいように修正。	計画を修正いたしました。	まちづくり課

総務文教・福祉常任委員会からの意見と対応

No	基本目標	計画ページ	意見	対応	関係課
1	1	P13	1観光について、町では大学と協定を結んで様々な取り組みを実施しているので、総合計画上にも記載したほうがよい。	1観光の基本方針に次の一文を追加 令和7年3月28日に協定を締結した國學院大学をはじめ学生団体等と、本町の観光施策や地域活性化などの取り組みについて産官学の連携を推進することで、多角的な視点による施策の推進を図ります。	観光課
2	1	P30	10地方創生(3)②ゆがわらっこ育ての支援について、概念がわかりづらい。表現を変えたほうがよいのでは。	次のとおり修正 (修正前) ゆがわらっこ育ての支援 (修正後) 子育ての支援	地域政策課
3	2	P33	1健康づくり(1)②健康づくり意識の啓発と⑥地域における健康づくりの推進は整理したほうがよいのでは。	②健康づくり意識の啓発に、次の一文を追加 また、地域に根差した身体活動・運動組織及び栄養・食生活改善に関する関係団体と連携しながら、健康寿命の延伸につながる行動を推進します。 併せて⑥地域における健康づくりの推進を削除し、②と⑥を統合整理。	保健センター

No	基本 目標	計画 ページ	意見	対 応	関係課
4	2	P35	2「予防対策」の項目のページについて、記載内容からがん感染症予防と感じる。「予防対策」の標記に違和感がある。	次のとおり修正。 (修正前) 【現状と課題】 ○各種予防接種の向上に努めるとともに、町民に対して感染予防対策などの周知を実施します。 ○新型インフルエンザ等については、国や県などと連携した危機管理体制を構築し、役割分担に応じた対応に努めるとともに、感染症の受診等に関する相談については、国や県の機関等へ適切に引き継ぐ必要があります。 【基本方針】 「自分の健康は自分でつくり守る」という視点に立った自主的健康管理思想の普及・啓発に努め、各種がん検診や予防接種などの受診勧奨による一次予防の推進を図ります。医師会とも連携を図りながら、各種事業を効率的に展開します。 (修正後) ○町民に対して感染症予防対策を周知するとともに、各種予防接種の実施体制を整備します。 ○新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、国や県などと連携した危機管理体制を構築し、役割分担に応じた対応に努めます。 【基本方針】 町民一人ひとりが「自分の健康は自分でつくり守る」という意識を持つことにより、疾病予防行動につながるよう支援します。 _医師会等、関係機関と連携を図りながら、各種事業を効率的に展開します。	保健センター
5	2	P36	3医療の現状と課題の2つ目に、制度を活用して「強化充実」に努めるとともに～と記載があるが、救急医療体制について、実際には「維持」するだけでも大変。「強化」より「維持」などの表現がよいのではないか。	次のとおり修正 (修正前) ○本町では、救急医療体制については現行の本町の在宅当番医制及び広域病院群輪番制(県西地域2市8町)などの制度を活用して強化充実努めるとともに(略) (修正後) ○本町では、救急医療体制については現行の本町の在宅当番医制及び広域病院群輪番制(県西地域2市8町)などの制度を活用して体制維持に努めるとともに(略)	保健センター
6	2	P38	4地域福祉(2)②地域各種団体のネットワーク体制の確立において、「ネットワーク体制の確立に努めます。」とあるが、5年たって「確立」はいかがなものか。	次のとおり修正 (修正前) (略)多方面の分野で協力しあえるネットワーク体制の確立に努めます。 (修正後) (略)多方面の分野で協力しあえるネットワーク体制の拡充に努めます。	社会福祉課
7	2	P46	8介護保険(3)①地域支援事業による介護予防の推進について、フレイル予防サポーターの記載を入れてほしい。	次の一文を追加 (修正前) (略)フレイル(虚弱)予防について、運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上、認知症予防などの介護予防教室を実施します。 (修正後) (略)フレイル(虚弱)予防について、フレイルサポーターや介護予防サポーター等と協力体制を図りながら、運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上、認知症予防などの介護予防教室を実施します。	介護課
8	3	P61	6循環型社会の構築の基本方針において、「新たなごみの資源化・減量化への方策を検討します。」とあるが、実現に向けた表現に変えられないか。	次のとおり修正 (修正前) 新たなごみの資源化・減量化への方策を検討します。 (修正後) 新たなごみの資源化・減量化への方策を検討し、更なるごみの資源化・減量化を目指します。	環境課

No	基本目標	計画ページ	意見	対応	関係課
9	3	P75	15消費生活の現状と課題の4つ目、「若年者に対する～」の表記が削られているが、記載があったほうがよいのではないか。	次のとおり修正 (修正前) SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の利用増加による悪質商法の勧誘や契約等の消費者トラブルについて、注意喚起が必要となっています。 (修正後) SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の利用増加に伴い、若年者や中高年者に対し、悪質商法の勧誘や契約等の消費者トラブルについて、注意喚起が必要となっています。	住民課
10	3	P78	17公共交通の現状と課題のなかで、ゆたぼん号の実績が上がっているようなことを記載してもよいのでは。	次の一文を追加 (略)町内には公共交通不便地域があり、このような地域の解消のため、一部ではコミュニティバスや予約型乗合い交通「ゆたぼん号」(令和元年10月より本格運行を開始して以降、毎年利用者が増加している。)(略)	地域政策課
11	4	P84	3学校教育(1)③中学校教育の充実のなかで、「部活動の推進」については、地域移行の記載あったほうがよい。	次の一文を追加 (略)各部活動用品の整備・充実を図ります。また、生徒たちの多様な活動が制限されないよう、休日の部活動の地域展開に取り組みます。	学校教育課
12	4	P84	3学校教育(1)⑥いじめの防止等の対策のなかで、「調査」について記載したほうがよい。	次の一文を追加 (略)いじめの早期発見に努めます。そのためには、継続して「Q-Uアンケート(Questionnaire-Utilities『楽しい学校生活を送るためのアンケート』)を年2回実施し、学級の状態や子どもの心理状況を把握するなどの組織的対応を図ります。教職員間では、アンケート結果の活用方法等について情報共有を図るなどの勉強会・研究会を開催します。	学校教育課
13	4	P85	3学校教育(1)⑦不登校などの問題解決について、不登校がそもそも問題なのか。記載内容を検討する。	次のとおり修正 (修正前) 不登校問題などの解消のために、継続して教育支援教室や青少年相談室、支援教育アドバイザー、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーなどを配置し、「チーム学校」のもと、相談体制・指導体制の更なる充実を図ります。また、引きこもりがちな児童・生徒に対しては、家庭訪問指導を実施するなど様々なアプローチによって問題の解決にあたっていきます。 (修正後) 学校へ行きたくても行けないなどの問題を解消するために、(略)。また、引きこもりがちな児童・生徒に対しては、家庭訪問指導を実施するなど様々なアプローチによって問題の解決にあたりながら、タブレットを活用した個別最適化学習を推進し「誰ひとり取り残さない教育」の実現を目指します。	学校教育課
14	4	P97	11地域間交流の現状と課題の3つ目、三原市との交流のなかで、豪雨災害の見舞金2,411,116円の記述があるが、金額の記載は削除したほうがよい。	次のとおり修正 (修正前) 見舞金2,411,116円を届けるなど(略) (修正後) 見舞金を届けるなど(略)	地域政策課

No	基本目標	計画ページ	意見	対応	関係課
15	4	P103	5人権・男女共同参画の現状と課題の8つ目、パートナーシップ宣誓制度の分量が他に比べて多く感じる。	<p>次のとおり修正 (修正前) 性的マイノリティをはじめ、様々な事情により、<u>婚姻制度を利用できず、悩みや生きづらさを抱えている方々に、町民一人ひとりが互いの人権を尊重し、多様性を認め合い、誰もがその人らしく、笑顔で生き生きと暮らすことができる地域社会を実現することを目的として令和5年4月</u> 「パートナーシップ宣誓制度」を創設しました。また、<u>県西地域2市8町(小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町)では、パートナーシップ宣誓制度利用者が市町間で住所異動する場合にかかる負担を軽減し、安心して暮らすことができるよう「パートナーシップ宣誓制度に係る相互利用に関する協定」を令和7年2月13日に締結しました。</u></p> <p>(修正後) 令和5年4月に「パートナーシップ宣誓制度」を創設し、その後、令和7年2月には県西地域2市8町(小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町)との間で「パートナーシップ宣誓制度に係る相互利用に関する協定」を締結しました。引き続き、性的マイノリティ等の生きづらさの軽減と支援の輪を広げるための取組を推進しています。</p>	社会福祉課
16	5	P109	行政職の採用に苦慮している。人材確保という部分に関して、記述が必要なのではないか	<p>①人材育成の推進を人材確保・育成の推進に改め、次の一文を追加。 <u>職員全員が、働きやすいと感じることができる職場環境を構築し、時代に即した働き方を推進することで、人材確保を図ります。</u></p>	総務課